

現行の設置基準等と わかりやすい表記に対する 取組の現状



現在の表示地名に関する基準

案内標識の表示地名をわかりやすく示すために、全国統一的に用いる地名について、昭和61年に通達を定めている。

1 適用の範囲

- (1) 対象道路：一般国道、都道府県道、幹線的な市町村道
- (2) 標識の種類：105系、106系、108系



105系



106系



108系

2 目標地の選定

- ・ 掲示する目標地は、広域的な案内の必要性に応じ
重要地、 主要地、 一般地 と分類。
- ・ 、 に選定する地名については、通達により規定。
- ・ **重要地の選定**
 - ・ 県庁所在地 ・ 政令指定市 ・ 地方生活圏の中心都市
 - ・ 主要幹線道路が相互に交差する結節点を有する市 等
- ・ **主要地の選定**
 - ・ 二次生活圏の中心地、町
 - ・ 主要幹線道路が相互に交差する結節点を有する町 等
- ・ **一般地の選定**
 - ・ 重要地、主要地以外の市、町、村
 - ・ その他沿道の著名な地点 等

< 東京都の例 >

	重要地	主要地
23区内	浅草橋、池袋、上野、 五反田、新宿、渋谷、 品川、巣鴨、日本橋	赤羽、青戸、荻窪、赤羽橋、 蒲田、板橋、飯田橋、大森、 大原、王子、羽田、日比谷、 東中野、本郷、馬込・・・
23区外	八王子	秋川、五日市、青梅、 奥多摩、数馬、清瀬、狛江、 小平、立川・・・

3 具体的な表示方法

- ・ 道路の種類ごとに、第1ランク地名のうち最も近いものを表示することを原則。
- ・ 主要幹線道路、幹線道路においては、2地名を表示。

道路の分類	目標地		
	重要地	主要地	一般地
主要幹線道路	◎	○	
幹線道路	◎	◎	○
補助幹線道路	◎	◎	◎

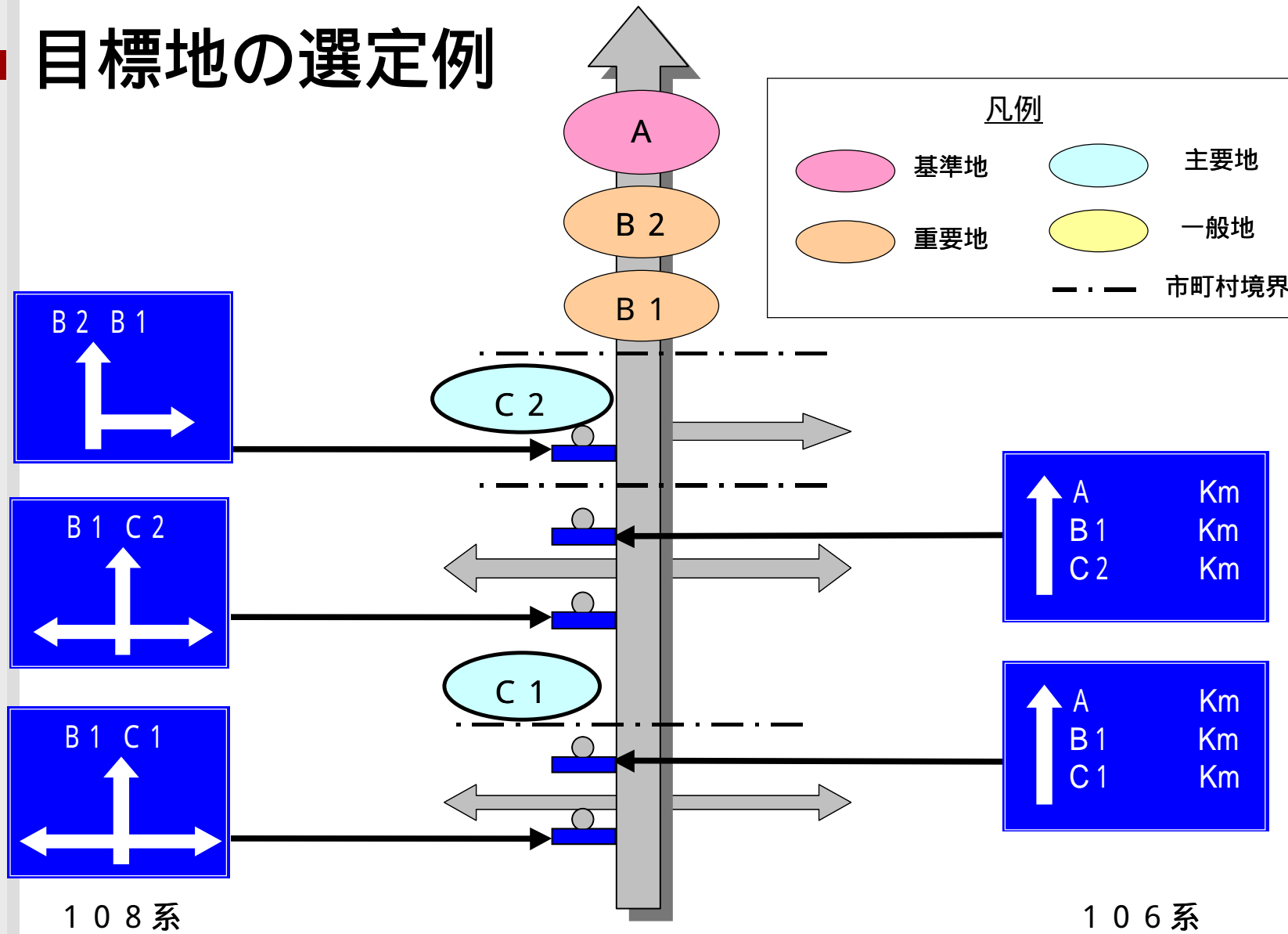
(注) ◎第1ランク(原則として用いる地名)
○第2ランク(2地名表示の場合用いる地名)

重要地 主要地



主要幹線道路表示例

■ 目標地の選定例



直進地名の表示例を示しているため、交差方向の地名は非表示。

高速道路の出口を案内する標識の表示地名について

1. 高速道路の出口を案内する標識の種類

予告標識（出口の約 2 km、1 km、500m手前地点に設置）

出口標識（出口分岐の始点と出口部分に設置）



2. 出口案内標識に用いる表示地名

インターチェンジ名称(左側)

インターチェンジから行ける都市名等(右側)

都市名等の表示は、「案内標識の表示地名に関する基準(案)」(通達, 昭和61年)による目標都市名、インターチェンジに接続する一般道路上の案内標識の表示地名から、知名度等を考慮して判断し選択。



インターチェンジ名称

インターチェンジから行ける都市名等

文字の基本寸法

文字高さは、設計速度や標識種別に応じて、視認性を考慮し以下の基準値を規定

設計速度	日本語文字高	ローマ字文字高
30km/h以下	10cm	大文字は日本語の1/2
40～50km/h以上	20cm	
70km/h以上	30cm	小文字は日本語の3/4
(高速道路)	50cm	

標識 

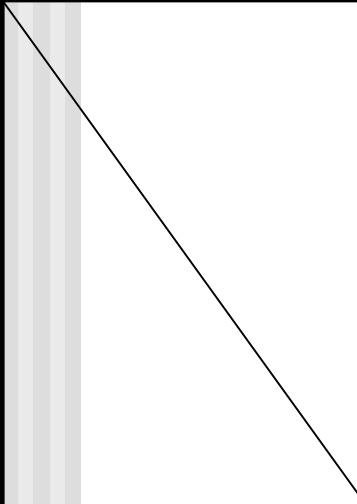



Hyoshiki 

拡大率

道路の区分・標識の種類に応じ、標識令にて1～3倍の範囲をもって規定

拡大率の標準値

()は交通量が多い場合

					
	文字の基本寸法				
	10cm	20cm	30cm		
片側2車線以上	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	1.3 (1.6)
片側1車線	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0 (1.3)

- ・見落とし回避
- ・容易に判断可
- ・経済性

以上の観点から標準値決定

色彩

一般道路

- ・「市町村」、「都府県」、「著名地点」、「主要地点」

> 白地、青文字

- ・「方面、方向及び距離」

> 青地、白文字



高速道路

- ・「市町村」、「都府県」、「方面および距離」

「方面及び出口」等

> 緑地、白文字



海外における事例において、青、緑色を基調とした
標識が多い

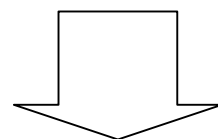


わかりやすい表記に 対する取組の現状

1. 道路サービス高度化検討懇談会

道路ユーザーの立場に立って、**路線番号、
標識**など道路を使う上での環境(ソフト)の
あり方について検討

平成3年度(座長:中村英夫教授)



平成4年3月 提言

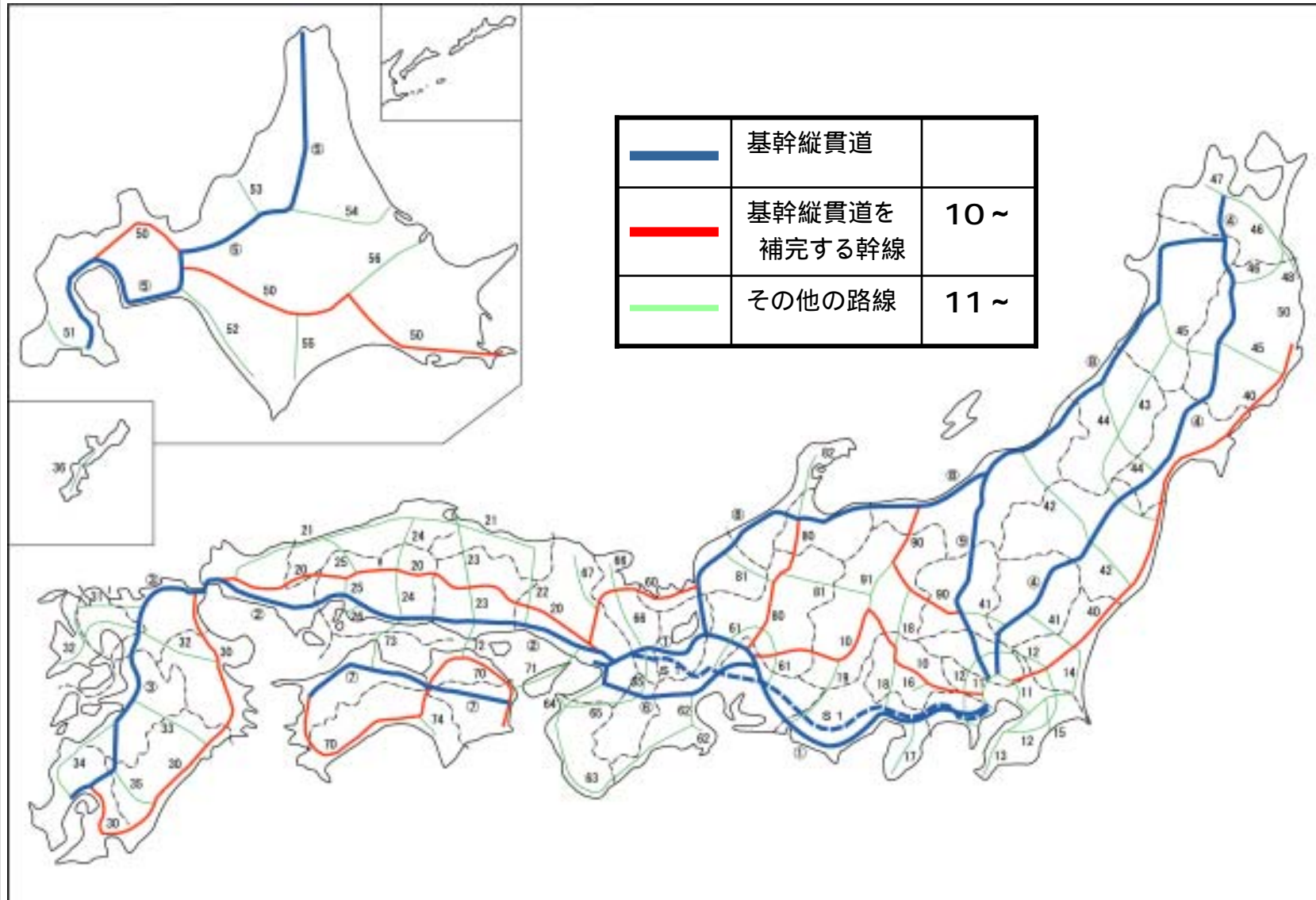
道路サービス高度化検討懇談会 提言

Pointer Project (ポインター・プロジェクト)

路線番号・標識・キロポスト・地図の連動による
ユーザーのためのわかりやすい道案内

1. **路線番号**によるわかりやすい案内
2. 交差点における**交差路線番号表示**
3. **キロポスト**の設置
4. 道路と地図, ナビゲーション等との連携

Pointer Project: 高規格幹線道路付番の検討例



Pointer Project: 高規格幹線道路付番の検討例



現行の表示に路線番号を追加

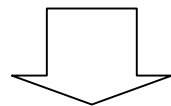
2. 一般道路における路線番号表示の推進

全国の主要交差点において、路線番号や路線名称が認識できるよう、標識を改善

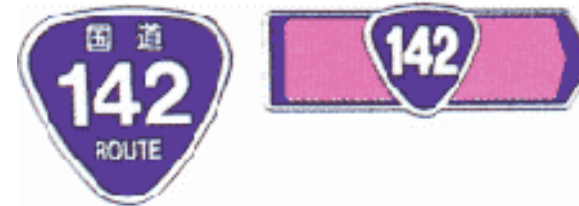
【目標】

都道府県道以上の道路が相互に交差する交差点（約3万9千箇所）

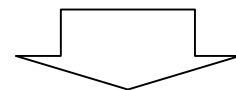
H14年度末の整備率 = 約64%



H19年度末に概成



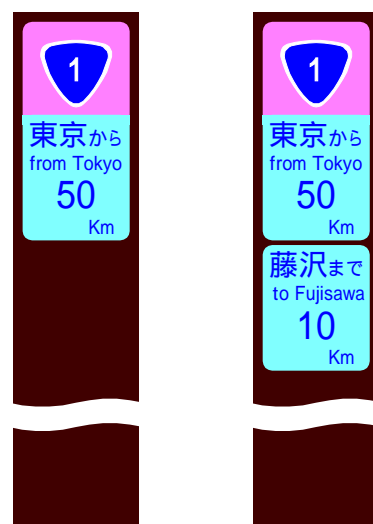
地名表示方式	路線番号方式
<p>道路網の変化に対応容易</p> <p>走行したい路線が案内標識で確定できない</p> <p>土地に不案内な道路利用者にとっては分かりにくい</p> <p>同一方向に向かう2本以上が同じ地名で表示され混乱</p> <p>市町村合併による地名変更等で、表示の見直が必要</p>	<p>付番の規則性と相まって交通流の適切な誘導に効果的</p> <p>日本語に不慣れな外国人等にもわかりやすい</p> <p>国際的に広く採用</p> <p>屈曲が多い道路などでは、連続的に誘導することが困難</p> <p>国道昇格、バイパス整備等により路線変更で、表示の見直が必要</p>



幹線道路以上の道路においては
路線番号方式を積極的に導入の方向

3. キロポストの設置

- ・ 起点からの距離表示により、現在地・目的地までの距離を認識
- ・ 故障や事故の通報にも役立つ



標準型 付加型



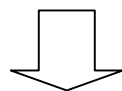
キロポスト設置事例

4. 地図を用いた案内

【目的】

高齢者や身体障害者、外国人を含め、初めての訪問者が目的地まで迷う事なく、円滑に到達

- ・主要な交通施設や公共施設
- ・観光施設等の位置
- ・バリアフリー施設の位置・経路



多言語表示・ピクトグラムの活用



アジアハイウェイに関する政府間協定

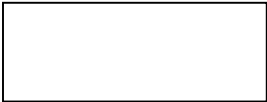
アジア各国を結ぶ高速道路網構築に向けた政府間協定

【目的】

アジア及び隣接地域における国際的な道路輸送の促進
加盟国間の関係強化と国際貿易、観光の振興

【概要】

関係32ヶ国、55路線、全長14万km (8割は既存道路を活用)
共通の設計基準を設け、統一した標識を設置

AH  …白 or 黒

(経緯)

1959: 国連ESCAP(アジア太平洋経済社会委員会)の前身が提唱

2004.4.26: 合意文書に23ヶ国が調印

Topic

アジアハイウェイ路線網



イスタンブール

AH1

プサン

福岡

東京



European Highway
の例

The designations employed and the presentation of material on this map do not imply the expressing of any opinion whatsoever on the part of the Secretariat of the United Nations concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries.
Dotted line represents approximately the Line of Control in Jammu and Kashmir agreed upon by India and Pakistan. The final status of Jammu and Kashmir has not been agreed upon by the parties.

